

平成 19 年 10 月 11 日  
日本銀行盛岡事務所

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、生産活動を中心に回復の動きが続いている。

最終需要の動向をみると、設備投資と住宅投資が前年を下回って推移しているほか、公共投資も前年を下回った。この間、個人消費は横這い圏内で推移している。

こうした中、生産は引き続き増加しているが、雇用情勢は横這いの動きとなっている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、総じてみれば横這い圏内で推移している。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、観光客の増加を映じて、お土産関係の食料品・雑貨が増加したほか、食堂・喫茶も伸びているが、お盆以降も暑い日が続いたため主力の秋物衣料品の出足が低調なことから、前年を下回って推移している。

スーパーの売上高は、9 月入り後も暑い日が続き、ビール・清涼飲料を中心に食料品は堅調に推移しているが、衣料品が低調なことなどから、弱めの動きとなっている。

#### (家電量販店売上高)

家電販売は、薄型テレビやゲーム機が順調に売上を伸ばしているうえ、エアコン、扇風機の販売や高機能の冷蔵庫や洗濯機も好調なことから、堅調に推移している。

(乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数(軽自動車を含む)は、新車投入効果から普通車が前年を上回ったものの、小型車、軽自動車が低調なことから、全体では前年を下回って推移している。

(2) 公共投資

公共工事請負金額は、国の前倒し発注などから、年度累計では引き続き前年度を上回っているが、9月単月では前年を下回った。

(3) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、改正建築基準法施行の影響もあって、大幅に減少している。

(4) 設備投資

2007年度の設備投資計画(9月短観調査結果)をみると、製造業は、電気機械や輸送用機械の大型投資一服から、前年度を1割方下回る計画。非製造業は、情報通信の大型投資一巡から、前年度を大きく下回る計画となっている。

3. 生産動向

生産は、増加を続けている。

(電子部品類)

電子部品・デバイスでは、薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話向けを中心に高操業が続いている。

(輸送機械)

一部で新潟県中越沖地震の影響が見られたものの、完成車、自動車部品とも、海外の好調な需要を背景に高水準の生産を続けている。

(一般機械)

自動車関連向け工作機械の生産が好調なほか、各種機械部品も幅広い分野から注文が入り高操業が続いている。

(その他)

鉄鋼の線材は、自動車向け需要に支えられ、高操業を続けている。食料品は、猛暑の影響から清涼飲料が増加しているほか、冷凍調理食品も堅調なことから、全体でも増加している。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、8月の有効求人倍率(季節調整値)は0.74倍(前月:0.76倍)、新規求人倍率(同上)は1.04倍(前月:1.07倍)と、いずれも前月に比べて低下した。

この間、雇用者所得は、一人当たり名目賃金が前年水準を下回って推移していることから、前年割れの状態が続いている。

#### 5. 企業倒産

9月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数6件(前年同月比57.1%)、負債総額1,796百万円(同23.9%)となった。

件数ベースでは、落ち着いているが、10億円を越す大型倒産が1件あったことから、負債総額は前年を上回った。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、公金預金が前年を大きく下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

一方、貸出動向をみると、個人向けは住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが総じて低調なうえ、地公体向けも一部に借入返済の動きがみられ、全体では前年を下回って推移している。この間、貸出金利は、緩やかに上昇している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) <a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a>
--